

家族ができること

この病気の患者さんにとって最大の援助者は家族です。

家族の病気への理解と適切な支援が、回復への大きな力となります。

患者さんにとっての力強い支えは、暖かい目で見守る「家族の接し方」です。

- 病気に対する正しい知識を持ちましょう
- 主治医の指示どおり服薬できるよう見守ってあげましょう
- 治療を続けるように患者さんご本人を勇気づけてあげましょう
- 不用意に強く励ましたり、患者さんご本人をせき立てないようにしましょう
- 目標はなるべく具体的に実現しやすい範囲で決めてあげましょう
- こまごまと些細なことを注意せず、小さな変化をほめてあげましょう
- 回復には時間がかかります。ゆっくり焦らず見守りましょう
- 再発のサインを知っておきましょう

再発を予防するために…

この病気の再発を防ぐためには、再発の兆候を見逃さないことが大切です。

そして、一緒に生活している家族だからこそ、

再発のサインをいち早く敏感にキャッチすることも可能です。

患者さんの様子が何かおかしい、いつもと違うと感じたら、

早めに主治医に相談してください。

再発のサイン

- 昼夜逆転した生活になる
- わけもなくカリカリして自室に引きこもる
- 家の中をそわそわ歩き回る
- 突然、いきいきと活発になる
- 食欲がなくなる

